

防災無線受信機の便利な機能

今回は防災無線受信機の便利な機能について紹介します。受信機は日南町に居住する全世帯や事業所などに設置しています。今はデジタル化され便利な機能が付いています。便利な機能を使い、防災無線を日ごろの生活に役立てましょう。

・録音と再生機能

受信機には録音機能が付いています。放送を受信すると自動的に録音され、聞き逃した放送をいつでも再生することができます。

「再生ボタン」を押すと新しいものから順番に再生されます。

再生を止めたいときには「緊急解除・停止」ボタンを押します。

未再生の録音があるときには「録音」ランプが橙色で点滅します。

録音できる時間は最大60分でこれを超えると古いものから消去されます。

・緊急放送

緊急放送は自動的に最大音量で受信します。「緊急解除・停止」ボタンを押すと通常の音量に戻ります。

・ライト

本体にLEDライトが内蔵されていて停電したときに点灯します。夜の間の停電時に役立ちます。「ライト」ボタンを押すことで手動でもON・OFFできます。

・電源

通常はAC電源で動作しますが、停電時は自動的に電池に切り替わり単I電池2本で約1週間動作します。

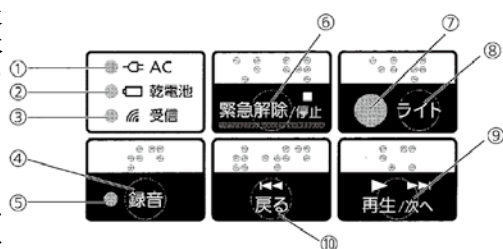
電池が消耗したなら入れ替えますが、単I電池がないときは本体の電池ふたを開

けて電池ケースを取り出し、反転させることで単II、単III電池も使用できます。

・長期間家を空けるときは

本体右側面の電源スイッチを切ってください。ACコードを抜いただけでは電池に切り替わって電池を消耗します。

・本体前面のランプ



	ランプ	点灯状況	状態
①	ACランプ	緑点灯	正常にAC電源で作動しています
②	乾電池ランプ	赤点灯	乾電池で作動しています
		赤点滅	電池が消耗しているか電池が入っていません
③	受信ランプ	赤点滅	圏外のため受信できません
⑤	録音ランプ	橙点滅	未再生の録音があります

本体のアンテナで受信している場合、確実に受信するためにアンテナはすべて伸ばして使ってください。

屋外にアンテナを設置している場合、雪などによる破損がないか、ときどき点検してください。

災害などの緊急放送や町からの重要な情報を受信する防災無線です。本体のランプやアンテナを点検し、決まった時間に放送する時報などを確認し、いつでも確実に受信できるようにしておきましょう。

受信できないときは役場総務課に連絡してください。

【問合せ】 役場 総務課 82-1111

月刊 ゴヨゴヨ

皆さん こんにちは！

モンゴルのゾーンモド市の出身で交流支援員のノミンです。

今月の「月刊ゴヨゴヨ」のコーナーでは、モンゴルの学校についてご紹介します。



交流支援員 ノミン

モンゴルでは6月から8月までの3カ月間の夏休みが終わると、9月1日から新学期が始まります。新たに6歳の子どもたちが入学します。モンゴルの教育制度は、小学校の5年間、中学校の4年間、高校に3年間通う子が多いです。モンゴルの学校のほとんどは小、中、高が一貫校で、すべての村と都市部にあります。

授業時間と休み時間

モンゴルでは学校の数と先生の人数が不足しています。多くの学校は午前と午後の二部制で授業を行っていて、子どもたちは学年ごとに午前、午後どちらかの部に通います。午前の部は8時から始まり、昼の1時20分に終わります。午後の部は1時30分から始まり、夕方の6時に終わります。授業は40分間で、3校時目と4校時目の間に15分間の休み時間があります。

入学式と卒業式の特徴

9月1日は入学式が行われます。学校の玄関前広場に新1年生と、その保護者や、先生たちが集まって、盛大に入学式が行われます。新入生がクラスごとに並んで、校長先生の話や、国旗掲揚があります。そのあと各学年の代表や先生が新入生のために歌を贈ります。日本の入学式との大きな違いは先生と新入生代表が手に持った鐘（ハンドベル）を鳴らしながら、初めて学校に入っていきます。これを「最初の鐘」と言います。

卒業式の場合は「最後の鐘」（ホンフニーバヤル）として、卒業生が鐘の音と一緒に学校から出ていく伝統的な習慣があります。

「最後の鐘」だけ「ホンフニーバヤル」と名前がついているのは、在学中の頑張りを讃え、卒業を祝う特別なものだからです。



花のプレゼント

先生はとても尊敬されます。モンゴルの文化では何かを教えたり、伝えたりできる人は素晴らしいと考えられます。そのため、入学式が行われるたびに子どもたちが「よろしくお祈りします」という気持ちを込めて、先生に花をプレゼントします。

